

あなたのみちも、
あるけるまち。

八王子

地域運営学校

まつぎ

<https://hachioji-school.ed.jp/matge/>



後期学校評価
アンケート号
令和7年2月19日
八王子市立松木小学校
校長 河村 真奈美



携帯からHP学校日記がご覧になれます。

令和6年度 学校評価アンケート（後期）の結果について

12月に実施しました学校評価アンケートでは、お忙しい中ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。いただいた回答につきましては学校運営協議会とも共有・協議し、結果がまとまりましたのでご報告いたします。

令和6年度 学校評価の結果について（保護者アンケート12月実施）

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	肯定的回答	R6 7月 肯定的意見
1	学校の経営方針（松木を愛する子、強い心と体の子、協力する子）を知っている。	71.3%	25.9%	0.9%	0.0%	1.9%	97.2%	95.3%
2	学校は、特色ある取組（強い心と体の子）を行っている。	37.7%	47.2%	0.9%	1.9%	12.3%	84.9%	82.0%
3	本校が、松木中学校、長池小学校と合同で行う取組（小中一貫教育）を知っている。	81.5%	14.8%	1.9%	0.0%	1.9%	96.3%	95.3%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	76.6%	21.5%	0.0%	0.9%	0.9%	98.1%	96.1%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	53.3%	34.6%	1.9%	3.7%	6.5%	87.9%	86.8%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	41.7%	40.7%	3.7%	2.8%	11.1%	82.4%	86.0%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている	52.8%	33.3%	2.8%	4.6%	6.5%	86.1%	83.7%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	53.8%	34.0%	0.0%	1.9%	10.4%	87.7%	86.0%
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	53.7%	28.7%	2.8%	0.9%	13.9%	82.4%	72.1%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	60.2%	30.6%	0.9%	2.8%	5.6%	90.7%	89.9%
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	72.2%	20.4%	1.9%	0.9%	4.6%	92.6%	93.0%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	43.9%	43.9%	1.9%	1.9%	8.4%	87.9%	82.9%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	70.4%	25.9%	0.0%	2.8%	0.9%	96.3%	91.5%
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対する教育）に取り組んでいる。	38.9%	33.3%	4.6%	0.0%	23.1%	72.2%	66.7%
15	学校では、分かりやすい授業が行われている。	45.4%	33.3%	2.8%	1.9%	16.7%	78.7%	78.3%

1) アンケート全体にかかわることについて

前期のアンケート同様、後期のアンケートでもおおむね肯定的評価をいただきました。ありがとうございます。また、15の設問の中で13の設問において、前期よりも肯定的回答が増えていることを受け、学校として大変嬉しく思っております。

一方で、肯定的評価が80%に満たなかった項目や、「わからない」の回答が多かった項目につきましては、しっかりと原因を分析し、改善に努めてまいります。

自由記述では、お褒めの言葉や感謝の言葉、ねぎらいの言葉をたくさんいただきました。このことは、教職員にとりまして大変励みになり、さらなる努力に向けてエネルギーになります。温かいお心遣いに心より感謝申し上げます。

また、ご心配の声やご指摘も多々ありましたが、読ませていただく中で、保護者の皆様から、「学校と力を合わせて心豊かな子供たちを育てたい。」「松木小学校をより良い学校にしていきたい。」というお気持ちでいてくださっていることが伝わってきました。そのために「こうしてほしい。」というご意見やご要望をくださっていることを、ありがたく思っております。いただいたお声を真摯に受けとめ、改善に向けてすぐにできることから取り組んでまいります。

今回のアンケートの回答率は、24.8%でした。たくさんのご意見をいただきましたところですが、前回よりもやや低い結果となりました。学校としてアナウンスが足りなかったという反省もありますが、保護者の皆様にとって、何かアンケートに取り組みにくい理由があれば、ぜひお聞かせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

2) 肯定的評価が高かった項目について

①設問1「学校の経営方針（松木を愛する子、強い心と体の子、協力する子）を知っている。」について

これにつきましては、97.2%の肯定的ご意見をいただきました。

前期のアンケート結果でもお伝えしましたが、本校では、地域学習や様々な地域行事・活動を通して、松木地区や松木小学校を愛し誇りに思う児童、心豊かでたくましい児童、自分の役割を認識し、できることをすすんで行う児童の育成を図っています。

今年度は、開校30周年の年であったことから、学校の歴史を振り返る中で、この教育目標を目にする機会が多かったことも、ポイントが上がった理由の一つになっているかと思います。今後も、折に触れてこの3つのキーワードを保護者の皆様と共有し、ご家庭でも「松木を愛する子」「強い心と体の子」「協力する子」の育成にご協力いただけたらありがたいです。

②設問3「本校が、松木中学校、長池小学校と合同で行う取組（小中一貫教育）を知っている。」について

これにつきましては、96.3%の肯定的ご意見をいただきました。

松木中学校グループ三校は、今年度、「人とのつながりを大切に、すすんで地域にかかわる児童・生徒を育成する」という目標を掲げ、9年間の義務教育を見通した指導の充実を図っています。

教職員は、小中一貫の日（年3回）に三校が輪番で授業公開をしたり、「学力向上」「児童・生徒理解」「タブレット活用」「郷土学習教材開発」の分科会ごとに、小中で一貫して取り組む内容を話し合ったりしています。また、行事などでも学校を行き来し、各校の児童・生徒の様子を見て、取組の成果や課題を確認しながら、指導の改善や充実を図ってきました。

小学生が中学校生活のイメージをもち、安心して進学できるよう、また、長池小・松木小の児童が、松木中学校で良好な人間関係を築くことができるよう、直接交流の機会を数多く年間計画に位置付けています。

これからも三校で協力し、より良い小中一貫教育の在り方を探っていきたいと思います。

③設問4「学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。」について

これにつきましては、前期同様すべての設問の中でいちばんポイントが高く、98.1%の肯定的ご意見をいただきました。

学校では、「自分の命は自分で守る」ということを、朝会や避難訓練の講話などで、繰り返し子供たちに話しています。そのためには、日常生活の中に潜んでいる様々な危険を予測する力や、それを回避して安全に行動できる力を身に付けておかなければなりません。

また、自分自身を守ることも大切ですが、同時に他者の安全にも配慮できる児童であってほしいと願っています。

毎月の避難訓練、歩行訓練やピーポくんの家さがし、セーフティ教室、情報モラル教室、薬物乱用防止教室などでは、具体的な場面をもとに身を守る方法を学んでいます。そして、小学校における安全教育・安全指導が、生涯を通じて安全な生活を送るための基盤となるよう、今後もしっかりと計画的に取り組んでいきます。

④設問13「学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。」について

これにつきましては、96.3%の肯定的ご意見をいただきました。

前期の学校評価アンケートで、「学校だよりの配布をもう少し早くしてほしい。月初めのスケジュールが分からず困る。」「翌月の予定表が早く知りたい。」というお声を多数いただきましたので、すぐに、翌月の行事予定表だけを前月の半ば頃には配信するようにしました。その結果、ご不便は解消しましたでしょうか？「大変助かっています。」と自由記述に書いてくださった方が何人もいらしたことに加え、肯定的ご意見が前期と比べて5ポイント近く上がっていることから、学校の対応を評価していただいたものと感じています。ありがとうございました。

3) 肯定的評価が低かった設問について

①設問14「学校は特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」について

これにつきましては、肯定的ご意見が72.2%でした。しかしながら、前期の学校評価アンケートでは、66.7%でしたので、少しずつ特別支援教育についてご理解いただけているのではないかと受けとめています。

特別支援教育は、児童一人一人のニーズに応じた指導及び支援を行っていく教育です。性格や得意な事、苦手な事、好きな事、嫌いなことなどを含めて、一人一人の個性や違いを理解した上で、学習面や生活面において必要とする適切な支援を行いながら、個々の良さを十分に引き出していくという考え方で行っています。

どの子も安心して学んだり活動したりできる環境づくり、どの子にも分かる指示や指導方法の工夫、個に応じた適切な支援を行うことを柱として、日常的に担当が主となって支援を行っていますが、時にはスクールカウンセラーや心理士に児童の様子を見てもらい、助言をいただくこともあります。サポーターを学級に配置して協力を得たり、ご家庭のご要望に応じて特別支援教室（チャレンジ）の巡回指導教員が、少人数での指導や個別指導を行ったりしながら、支援することも行っています。

今後も、その時その時に適切であると考えられる指導・支援を提供できることを目指して、特別支援教育を推進していきます。

②設問15「学校は、分かりやすい授業が行われている。」について

この項目に関しましては、前期（78.3%）に引き続き、78.7%と他の項目と比べても肯定的ご意見が低い結果となりました。また、「わからない」という回答も、微増しています。どの子にも分かる授業を行うことで児童に学力を付けることは、学校の使命の一つですので、この結果に関しましては、重く受けとめています。

まずは、教師一人一人がしっかりと授業力（「授業を考える力」「授業をする力」「授業を振り返る力」）を身に付ける必要がありますが、「分かりやすい授業」を行うためには、中でも特に、3つ目の「授業を振り返る」を、大事にしていく必要があると考えます。

自分自身の指導について振り返るとともに、児童にとってこの授業はどうだったのかを、児童になったつもりで考えたり、児童の授業評価を活用したりしながら課題を明らかにし、授業改善に臨むようにしていきたいと思います。

また、本校は学校公開に限らず、いつでも授業を見に来ていただいて構いません。まつぎ会のお仕事や、学習ボランティアなどで来校された際、お子さんの送り迎えや忘れ物を届けていただいた際などには、ぜひ教室をのぞいていただき、学習の様子を見ていただければと思います。

4) 自由記述より（学校全体にかかわること、複数意見についての回答）

●漢字・計算オリンピックを、学習習慣をつけるための材料にして、子供たちに声かけをしてほしい。出題範囲を1カ月前には知らせてほしい。

漢字・計算オリンピックの取組に関しまして、ご家庭でもご協力いただいていることに感謝いたします。3学期のオリンピック出題範囲に関しましては、どの学年も2月の学校だよりでお知らせしました。

今後も、早めに出題範囲をお知らせしていきます。また、当日に向けて児童の意識が高まり、しっかり準備ができるように学校でも取り組んでいきます。

●教員の欠員、度重なる担任交代があった件について

この件に関しましては、保護者の皆様にはたいへんご心配をおかけしたことはもちろん、誰より児童に不安な思いをさせてしまったことを申し訳なく思っています。

担任の退職、昇任に伴い、短期間に二度も担任が交代する学級があり、授業を学年内で教科担任制にするほか、講師で対応しなくてはならない事態が起きました。児童にとっては、大きな環境の変化であり、不安で落ち着かない学校生活となってしまったことを心からお詫びいたします。

また、現在算数少人数指導の担当も欠員となっていることから、習熟度別の細やかな指導ができていないことに関してもご心配のお声がありました。児童が落ち着いて、しっかりと学習や様々な活動に取り組める体制づくりをしていくとともに、保護者の皆様にも安心してお子さんを学校に送り出していただけるように尽力してまいります。

ここでお答えしていない少数意見につきましても、全教職員で真摯に受けとめ、改善できることに関しましてはご要望に応えられるよう努めてまいります。

今後も引き続き、本校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。